

差別のないまちづくりを目指して 人権トピックス

鳥取県では、昭和44年7月10日に施行された「同和対策特別措置法」を記念し、7月10日～8月9日を部落解放月間として、様々な取り組みをしています。町内外の活動をピックアップしてお届けします。



講演会の様子(富有まんてんホール)

【感想より】

●大人になって、この講演を聞いて初めて、教科書に載っていた「全国水平社」などの言葉の意味がわかったように思います。ありがとうございます。(40代女性)

部落解放同盟鳥取県連合会 中田幸雄委員長に「部落差別の現状と今後の課題」と題して、ご自身の体験談と、「本人通知制度」が差別を許さない町民・県民意識の行動化につながって行くこととお話頂きました。94名にご参加頂きました。

第2回「気づく・知る・感じる」人権のつどい

《7月24日》



街頭啓発活動(丸合西伯店前)

街頭啓発活動

《7月10日・11日・25日》

7月25日夕方、人権擁護委員・同和事業推進協議会等の方々と、啓発用グッズを配布しました。



paix2(ぺ)人権コンサート

《8月4日》

南部町人権啓発のつどいで「paix2」のまなみさん・めぐみさん(鳥取県出身)をお招きして、笑いあり、涙ありの人権コンサートを開催しました。138名の方にご参加頂きました。



▲(左から)まなみさんとめぐみさん

▼町外からもたくさん参加して頂きました



【感想より】

●すばらしい曲、声で感動しました。(60代女性)
●コンサートなんて初めてだったが、うつ気分がはれました。(70代女性)
●80歳すぎても楽しかったです。元気になりました。(女性)

第38回 人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会

《8月7・8日》

鳥取県は「人権先進県」を目指しています。県内各地から多くの人が参加して7日、米子コンベンションセンターを主会場に全体会を開催。8日は、米子市内外の8会場で分科会を開催され、南部町からは延べ57名が参加しました。第二分科会第二分科会では、「地区学習会の今」と題して、法勝寺中学校の山下真史先生が実践報告しました。

▼分科会の様子(淀江さなめホール)



▲全体会の様子(米子コンベンションセンター)